

選ばれる企業は、はじめてる

SDGs

をビジネスに

Sustainable Development Goals

身近な企業による取り組みやアイデアが、意外にもSDGsに関係していることをご存知ですか？ 環境や社会問題に目を向けることは、地域貢献となり、社会から信頼を得ることができるのはもちろん、新たなビジネスチャンスに繋がります。

株式会社COMARS

かぶしきがいしゃコマース

☎077-536-6044
草津市野路2-18-16

映像制作、デザイン制作、イベント企画・演出・配信、ドローン空撮などのクリエイティブ事業を軸としながら、映像の力を生かしたコンサルティング・教育事業を展開。またドローンの操縦を学ぶドローンスクールも運営する。



よし たけ かん
代表取締役 吉武 亮氏

Pick up!

はじめています

1. 「人を動かす」映像・デザインの制作
2. 教育機関との連携で育むクリエイティブの力
3. 安全で質の高い技術を学ぶドローンスクールの運営



クリエイティブ産業が地方に根付くようにとの想いから、積極的にクリエイターを育成。同じ志をもつスタッフと共に、持続可能なクリエイティブに向けて歩んでいる。



「映像はあくまでも手段」と話す吉武氏。「人を動かす」という目的の達成はもちろん、クライアントから「一番おもしろい仕事でした」と言ってもらえるのもやりがいだという。

令和元年5月、立命館大学発のクリエイティブベンチャーとして創業した同社。現代表の吉武氏は当時、大学在学中だったという。事業を行う上で解決したい課題は「地方にクリエイティブ産業が根付いていないこと」だと話す吉武氏。創業当時からその課題を解決すべく事業を行っている。5年目となった今も、映像制作を通じて持続可能なクリエイティブを叶えたいと、滋賀で大切にされてきた『三方良し』の精神を継承し「クリエイター良し、クライアント良し、世間良し」の未来を目指している。高校生の頃からSDGsについて学んだ世代だからこそ、持続可

能な社会への基盤づくりの意識が高く、大学発のベンチャーとして、教育機関とのつながりを活かした取り組みにも力を入れる。難しいテーマを分かりやすく伝える映像制作の実践授業など、クリエイティブの力を活用した教育にも携わっているほか、ときには、学生を撮影・制作クルーとして登用することもあるのだとか。そういった経験を通じて映像制作の楽しさだけでなく、伝えることの難しさを知り、企画から寄り添うことの重要性も学んでもらっているのだそう。新たなクリエイターの育成と、地方でのクリエイティブ産業の定着に向け挑戦し続けている。

新時代の「三方良し」を実現
クリエイティブ産業を地方に

